

「日々是好日」
にちにちこれこうにち

広島県 浄久寺住職 多飯裕慧
じょうきゅうじ おおいゆうえ

私が住職をつとめるお寺は山の中腹にあり、桜や紅葉など、季節ごとに絵のような景色を楽しむことができます。しかしながら、自然は美しいだけではありません。お寺の周辺の草刈りが、私を悩ませていました。刈っても刈っても生えてくる雑草を見ると、草刈りに嫌気が差すこともありました。

初夏ある日のことです。地元山野草の会の方が、お寺の敷地内の野花を見せてほしいと散策に来られました。私は、来られる方たちに対して、草刈りが十分でないことに、申し訳ない気持ちと、情けない気持ちになっていました。その中のお寺に始めて来られた方が、私に「素敵な景色ですね」と笑顔で声をかけてくださいました。そのとき、私はハツとしました。なぜなら、その方が「素敵ですね」とおっしゃった景色は、私が常日頃、刈っても刈っても生える雑草で悩んでいる景色なのですから。その方の笑顔は、私が草刈りで四苦八苦している様子までもおわかりのようでした。

大本山永平寺を開かれた道元禅師様は、「私たちの日々の一一つの行いに、仏様が宿っている」とお示しです。そのような一一つの尊い行いが綿密に積み上がって、私達の日日が完成します。そこに、他人から良い悪いなどと評価される余地はありません。道元禅師様は、誰のどんな一日も尊く素晴らしい一日なのだとお示しです。

私はその日、「素敵ですね」と微笑んでくださった方のおかげで、自分自身が勝手に作り上げた他人の評価に悩んでいたことに気づくことができました。今私たちは、自分が一生懸命に生きた一日をあるがままに受け入れることが大切なのではないでしょうか。「日々是好日」これからは、美しい風景の中で過ごせる毎日に感謝し、一生懸命お勤めをさせていただきます。いただきますと思います。